



# 八和田小だより

【学校教育目標】 『**◎**さしい子・**◎**かるまで学ぶ子・**◎**くましい子』

## 《「全国学力・学習状況調査」の結果概要と今後の取組について》

今年の5月に6年生を対象に実施された「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果が各学校に送付されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

八和田小学校では、夏季休業中に全教員が全国学力学習状況調査の問題に取り組み、児童がどこにつまずいているのかを確認する研修を行いました。

今後は、成果や課題を学校・家庭で共有し、学力向上のための取組をさらに充実していきたいと思えます。

### 1 全体的な傾向として

(1) 学習状況(質問紙より)【○は本校児童の強いところ ●は本校児童の課題のあるところ】

- 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の肯定率が、県・全国を上回っている。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「国語の勉強は大切だ」「国語の授業の内容はよく分かる」の肯定率が、県・全国を上回っている。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」の肯定率が、県・全国を上回っている。
- 学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりの学習時間が1時間以上の児童が、県・全国と比べて20%下回っている。
- 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」の肯定率が、県・全国を下回っている。
- 「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」の肯定率が、県・全国を下回っている。

ご家庭の協力があり、基本的な生活習慣は確立されていると感じております。また6年生の学習状況ですが、普段は教科の宿題の他に自主学習を毎日提出しており、頑張っている姿を感じられます。

しかし、本校の中でも家庭学習を頑張っている6年生でも「学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりの学習時間が1時間以上の児童」が、県や全国と比べると下回っている状況です。1年生から5年生の皆さんも、参考にさせていただければありがたいです。

### (2) 学力状況より

【国語】

- 「登場人物の行動や気持ちなど叙述を基に捉える」「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える」は、県・全国平均と同値である。
- 一方、「自分の考えをまとめて書く」「文章の表現の効果を考える」「5年生まで学習した漢字を文の中で正しく使う」は、県・全国平均を下回っている。
- 指定された条件をすべて満たした文章や資料の内容をもとに自分の考えを書くことには課題がある。

漢字練習が各学年で宿題として出されると思います。例えば「親しむ」という言葉を練習するだけでなく、例えば「読書に親しむ」と漢字が使われている文で練習したり、その漢字の意味も触れたりするとよいかと思えます。【裏面に続きます】

また、中学校を見越して説明文や物語文など長い文章に慣れて、一気に読める力も必要です。中学1、2年生は国語の授業が週に4時間、3年生になると3時間です。（書写の時間も含まれます）ちなみに小学1・2年生は週に9時間、3・4年生は週に7時間、5・6年生は週に5時間です。

#### 【算数】

○整数の乗法の問題、最小公倍数を求める問題、百分率で表された割合を分数で表す問題などの基本的な問題の正答率は、県・全国と同値または上回っている。

- 一方、「伴って変わる二つの数量が比例関係あることを用いて答えを求める」「算数用語の意味・定義の理解（ひし形の意味や性質、構成の仕方）」に課題がある。
- 資料をもとに文章で解答する設問（「指定された条件を満たした文章を書く」「指定された条件を満たして求め方を記述し判断する問題」）に無回答が見られる。

算数は系統性の強い教科です。つまりいた単元の学年から改めて復習することも必要となります。算数の授業では、文章問題で問題文とその場面や図・表・式を結び付け、それらを行き来する表現活動を行っています。

ご家庭では、家庭学習で答えがあっただけでなく「なぜこの式になったの？」と問いかけてみてください。

#### 【理科】

○実験器具（メスシリンダー）の使い方、観察などで得た結果を分析して解釈する、の正答率は、県・全国と同値または上回っている。

- 一方、実験器具の名称（メスシリンダー）、2つの視点で見る二次元表（育ち方と主な食べ物）から分析して解釈する、の正答率は、県・全国を下回っている。

理科の授業での観察や実験から得られた情報から、子供が考えた主張に対して「どこからそう考えるのか（根拠）」や「なぜそう考えるのか（理由）」を意図的に問うことにより、自分の考えのよりどころとしての根拠を示すことで自分の考えや友達の考えを深めるような授業展開をしていきたいと考えています。

### 3 今後の取組について

今回の調査で明らかになった課題を改善していくため、次のような取組の充実を図っていきます。

- ◇「よりよい表現」となるよう文章を書くときには、その文章を読み直して条件に合った文章なのか推敲し、他の人と文章を読み合うようにしていきます。
- ◇算数の割合の学習では、「何を基準となる1とみるか」という考え方を学年の発達段階に応じ理解させるようにしていきます。
- ◇解答で求めている条件やふさわしい言葉などを正しく使えるようにして、自分の考えを説明できる力を育てていきます。
- ◇教科の枠を越えたり、「文」と「図」を組み合わせたりする情報を複合的に理解する問題が出題されています。各教科の学習で積極的に取り上げていきます。

### 4 保護者のみなさんに改めて次の点、ご協力をお願いします。

- 子供の良いところ、頑張っているところを褒め、認めてあげるよう改めてお願いします。
- 携帯電話・スマホ・テレビゲーム等の使用方法について、ご家庭でルール等を今一度お子様と話し合ってください。
- 家庭学習（宿題も含め）の見届けをお願いします。
- 本（活字）に親しみ、読書や音読も見届けをお願いします。